



KINDAI CARELINK

December.2022 Vol.30

膵炎・地域連携システム



消化器内科

特命准教授・胆膵責任医師

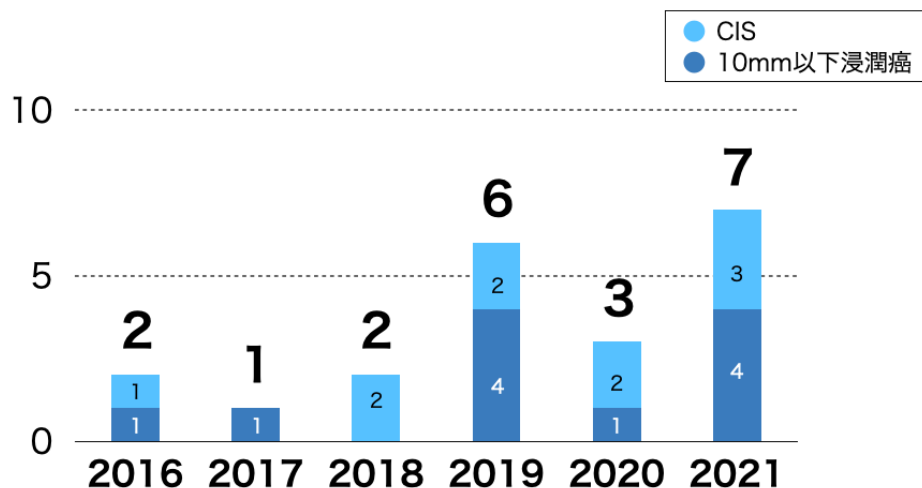
竹中 完 Takenaka Mamoru

Profile

平成13年 近畿大学医学部 卒業
平成13年 淀川キリスト教病院
平成20年 神戸大学大学院医学系研究科
平成21年 神戸大学医学部消化器内科 医員
平成25年 神戸大学医学部消化器内科
特定助教
平成28年 近畿大学医学部消化器内科
講師を経て
令和4年 近畿大学医学部消化器内科
特命准教授

早期膵癌から重症膵炎まで、
私達にできることを地域の皆さまと一緒に！

当院における微小膵癌の診断数 (2016-)



膵臓は“怖い臓器”というイメージがあると思います。悪性疾患の膵臓癌や、良性疾患とはいえ時に命の問題になる重症急性膵炎などは非常に予後が悪い疾患です。私達は病診連携、地域連携がこれらの疾患に立ち向かうために非常に重要であると考え、連携システムの構築に取り組んでいます。地域連携システム無くして、膵疾患診療は成り立たないと言っても過言ではありません。膵癌に関しては残念ながら多くの症例は診察時には病期が進行しています。予後が良いとされる1cm以下の膵癌は全く自覚症状がないことが一つの大きな要因です。それらの患者さまのほとんどは大学病院ではなく、開業医の先生にかかられています。

例えば「突然血糖コントロールが崩れてきた患者さま」や「最近下痢などでお腹の調子が悪いがいくら調べても悪いところはないと言われている患者さま」などは早期の膵癌である可能性があります。私達はまずそのような患者さまに膵癌を疑っていただきたい、次いで私達にご紹介をいただき精査させていただきたい旨をお伝えすべく、この数年近隣の各市町村医師会にお願いをして私たちの取り組みをお話しさせていただく機会を作っていただき、定期的にチラシをお配りしてきました。1例でも多く、早期膵癌拾い上げにつながればという思いで活動しています。実際に早期膵癌として診断される患者様は増えておりますので引き続き活動していければと思います。

重症急性膵炎に関しては命に関わる病態であるため、診療ガイドラインに「重症急性膵炎では診断後3時間以内に適切な施設への転送を検討する」と記載されていますが、2016年の調査では転院搬送はスムーズに行われていない状況でした。

そこで近隣病院（医療連携事務、急性膵炎に携わる医師）にアンケート調査を行い、年に1回地域連携構築会議を開催し、皆様とどうすれば連携不良問題が解決できるかを相談してきました。その中でどの病院がどこまでの膵炎治療をできるのかが一目でわかり、転院搬送に役立つためのMAPを作成し運用していますが高い評価をいただき、最新の急性膵炎ガイドラインにも私たちの取り組みやMAPは掲載されています。

繰り返しますが私たち大学病院だけでは膵癌、重症急性膵炎のみならず、すべての疾患の診療は成り立ちません。地域連携を通じて、私達は大学病院としての立場で面積880km²、25の市町村、人口230万人がいる南大阪地域の患者さまの医療に携わっていければという思いで活動しています。どのような症例でもいつでもご相談、ご紹介をいただきたく存じます。全力で取り組ませていただきます。何卒よろしくお願いいたします。

当院消化器内 胆膵グループ



血液・膠原病内科（膠原病グループ）



教授
木下 浩二
Kinoshita Koji

Profile

昭和61年 近畿大学医学部卒業
昭和61年 近畿大学医学部
第3内科 入局
平成9年 米国Harvard大学 腎臓内科
平成11年 近畿大学医学部 第3内科講師
平成23年 近畿大学医学部
堺病院 膠原病内科 准教授
平成30年 近畿大学医学部
血液・膠原病内科 准教授を経て
令和4年 近畿大学医学部
血液・膠原病内科 教授

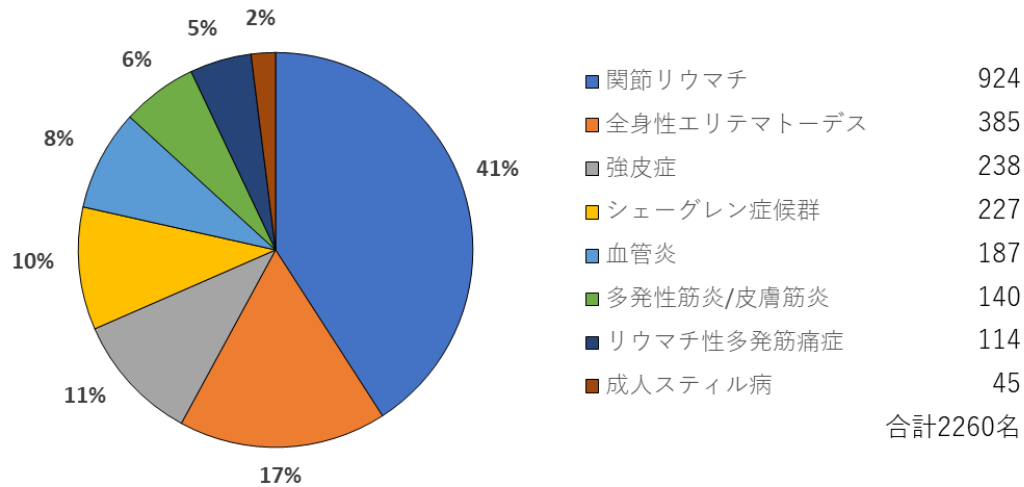
Quantification

日本内科学会総合内科専門医
日本リウマチ学会専門医・指導医
日本腎臓学会専門医・指導医
日本アレルギー学会専門医

趣味
映画鑑賞

近年において関節リウマチを始めとした膠原病領域の診療は急速な進歩を遂げております。病態形成に関わるサイトカイン群や免疫細胞群が次々と解明され、これを標的とした生物学的製剤やJAK阻害薬などを用いる新たな治療法が始まりました。当科では、エビデンスに基づいた最新・最適な診療の実践を基本方針として、リウマチ・膠原病疾患に悩む患者さまに、健常な人と変わらないほどの日常生活を提供できるよう日々心掛け診療を行っております。

当科通院中のリウマチ膠原病疾患症例



診療録から主病名にて抽出 2021/4-2022/8

リウマチセンター



リウマチセンター長代行
野崎 祐史

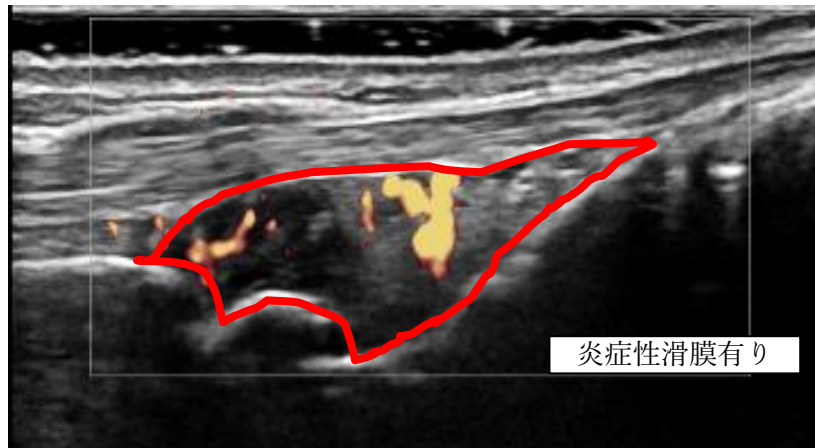
関西地区の関節リウマチ治療センターとして、近隣施設から多数の紹介患者の診療にあたっています。症例ごとの病態に適した治療法を実践し、合併症や薬の副作用の早期発見に努めています。

関節超音波外来

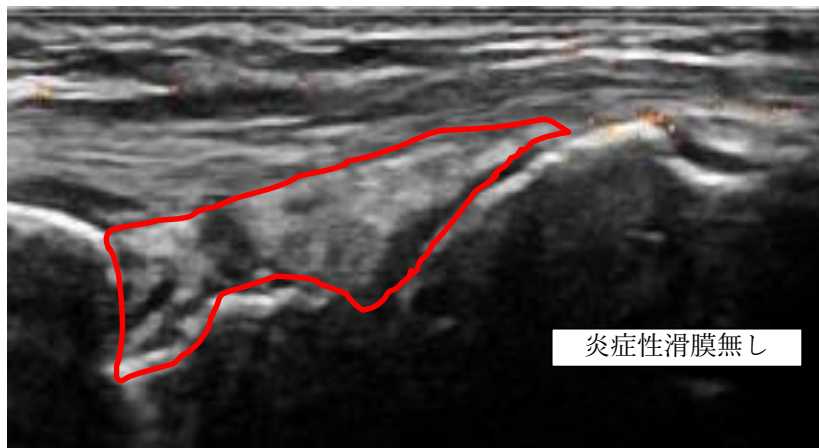
月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
○		○		

関節超音波検査

①関節リウマチ高疾患活動性状態



②関節リウマチ寛解状態



関節超音波検査の有用性について

早期発症関節リウマチの患者さまには血液検査にて診断が困難な方が数多くおられます。また画像検査では早期関節リウマチではレントゲン所見に異常は認めないため、私達は関節超音波検査所見を診断目的や治療評価として用いております。

関節リウマチ疾患活動性が高い状態であれば炎症性滑膜病変（赤粋）が罹患関節に認められますが（写真①）、治療が奏功すれば炎症性滑膜は消失し（写真②）、関節破壊も進行停止します。早期診断や適切な治療評価が重要であり、関節超音波検査を用いて適切な治療を患者さまにお届けできる環境を整備しております。

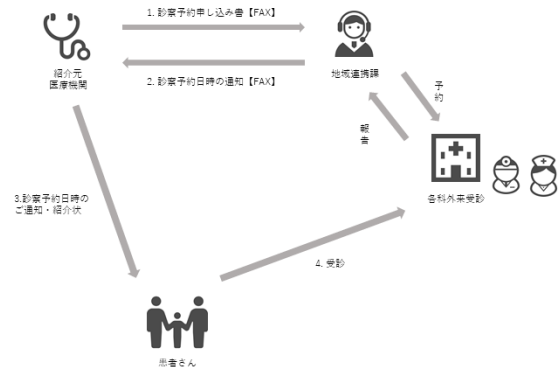
関節超音波検査予約患者さまお一人当たり15～30分と十分な検査時間を確保し、複数の医師にて診断しており、患者さまにとって非常に満足度の高い検査となっております。

診断や治療にお困りの際は是非 血液・膠原病内科（膠原病部門：月-金曜初診受付）やリウマチセンター予約枠（火曜日）をご利用下さい。

紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願いいたします。

1. 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願いいたします。
↓
2. 患者さんのご希望の日時で予約を取り、「診察予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
(平日20時まで対応いたします)
↓
3. 患者さんに予約日時等をご説明いただき、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



* ICT地域医療連携ネットワークシステムを導入いただきますと常時診察予約が可能です。

地域連携課

直通TEL **072-366-0241** FAX **072-365-7161**

【受付時間 9:00-20:00】

(紹介予約に関するお問い合わせ)

緊急患者紹介方法について

地域連携課 【受付時間 9:00-17:00】

072-366-0257 直ちに専門医療が必要な症例、病院事務から専門医に電話回送

救命救急センター 【24時間体制】

072-366-0250 重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、その他の高度な救急医療

脳卒中コール 【24時間体制】

072-366-0920 脳卒中（発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、急性頭痛を呈する軽症から重症の患者）、くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い

ハートコール 【24時間体制】

0120-145-810 狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患

周産期コール 【24時間体制】

072-366-0133 産科救急（母体救急、胎児救急）、婦人科救急

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さんで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請（相談）に応じ、医師がドクターカーに同乗し、患者さんをお迎えにあげります。

ハートコール 心臓血管センター 【24時間体制】

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221（内線3138）

